

地震です

1. に確認「身の安全」
2. に確認「火の始末」
3. に確認「避難場所」

地震が頻繁に起きています。日ごろの心構えはもうできていますね。まずは身の安全、そして被害を大きくしないための「火の始末」と「避難場所」の確認です。今月はこの3点を考えて見ましょう。



ガスの元栓の場所を知っていますか

- 1、に確認「身の安全」・・・普段から家の中の安全に気をつけ、地震に強い部屋作りを心がけておきましょう。特に落下物が無いようにしておきたいものです。
- 2、に確認「火の始末」・・・“揺れたら火を止めよう”を合言葉にして、まずガス台の火を止め、できれば元栓もぜひ締めておきたいものです。2次災害の火事は、被害を大きくする元になります。ちょっとした日ごろの心使いで、大きな被害に会わないで済むことになります。元栓のあり場所を皆さんは知っていますか。確認をしておきましょう。またガス台の付近はいつも整理整頓をしておきましょう。
- 3、に確認「避難場所」・・・地震のとき連絡が取りにくくなります。日ごろから家族一同が必ず出会える場所を決めておきましょう。各市町では、お住まいの近くに必ず避難場所を用意しています。散歩の道すがら、買い物の途中、通勤の行き帰り「避難場所」の文字に心を配っておきましょう。避難場所が分からない人は、役所・役場で確認しておいてください。お住まい近くの「避難場所」を案内してくれます。

外国籍市民との1年に1度のビッグなお祭り

富士見市国際交流フォーラム

heart to heart で o tomodachi
(こころとこころでおともだち)

同じ地域に住む人々が、国籍にかかわらずさまざまな文化を理解し、交流を楽しめる場として、国際交流フォーラムを開きます。子供も大人もみんなが参加できるアイデアいっぱいイベントですので気軽にお出かけください。

とき 10月16日(日) 12時30分～4時30分

ところ 市立ふじみ野交流センター(最寄り駅・ふじみ野駅)

ないよう [体験コーナー] 民族衣装や着物の試着と記念撮影・茶道・太極拳・わいわいトーク・絵で描く書

[試食&アトラクション] 外国のお菓子や留学生の本場の味

[在日外国人の主張] 在日外国人の日本語スピーチ

主催 富士見市・教育委員会・国際友好協会



INFORMATION

10月以降、国民健康保険証は一人1枚になります

国民健康保険に加入している人が、病院に行くとき必ず持っていく「国民健康保険被保険者証」。10月1日から一人1枚となります。大きさはテレホンカードの大きさになります。新しい保険証は、9月下旬までに配達記録郵便で送られてきます。届かない人は最寄の役所、役場の保険年金課または出張所で確認してください。10月1日以降は現在使用している保険証では、病院にかかることができません。カードは小さくなりますので紛失に注意してください。

中国語教室で教えてくださるボランティアの方募集しています!

曜日: 毎週金曜日

時間: 午前10時から12時

場所: 「ふじみ野国際交流センター」

資格: 特にありません

日本語教室で学んでいる方もぜひ中国語の先生になってくださいませんか。日本語はできなくても大丈夫です。ネイティブの方の中国語を学びたい熱心な学習者が、皆さんを待っています。合わせて日本語の理解を深める機会にもしてください。

10月1日は国勢調査の日

21世紀の豊かな街作りのために9月下旬国勢調査員が、皆さんのお宅に「調査票」をお届けします。10月1日までに書いておいてください。後日調査員が受け取りに来ます。書かれた内容は他に漏れません。

外国籍市民市政調査のための懇談会に参加してください

上福岡市では外国籍の市民が、快適な生活をできることを願い、意見をお聞きする懇談会を開きます。参加して下さる方を募集しています。懇談会の場所が毎回変わりますのでセンター(275-0370)までご連絡ください。

第1回 10月26日(水)

第2回 11月17日(木)

第3回 1月15日(日)

「トラフィッキング(Trafficking)」って知っていますか

この言葉、以前は銃器や麻薬の不正取引の意味で使われていたそうです。しかし最近では女性や子供の「人身売買」の意味で使われています。日本でもそうした状況の下で無理やり意に添わない仕事をさせられている人たちがいます。知人からそうした話を聞いたり相談を受けたりしたときは、ぜひセンターにお話ください。日本政府も、刑法に「人身売買罪」を作り来年の通常国会に提出するよう検討を進めています。

平成17年10月1日「ふじみ野市」が誕生いたします。

上福岡市と大井町が一緒になることを知っていますか。新しくできる市の名前は「ふじみ野市」です。それに伴いさまざまな変更がありますので、詳しくは次号でご紹介を予定しております。事前に知りたい場合は、両庁舎の企画担当課にお聞きください。